

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人徳望会

特別養護老人ホーム見心園

見心園デイサービスセンター

見心園在宅介護支援センター

見心園居宅介護支援事業所

令和元年度事業報告

I 法人運営

- 1 令和元年度の理事会は5回・評議員会は1回開催した。
- 2 苦情処理については、今年度は申し出がなかった。第三者委員会については第1回は苦情の申し出がなかったため、対応に苦慮する家族の要望等についての助言をいただいた。第2回は新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止した。

II 見心園の運営

1 見心園の年間活動について

(1) 年間行事実施状況

見心園最大のイベントである7月の「夏まつり」を中心に、あやめまつり、秋まつりを地域交流と位置づけ実施。誕生会、新年を祝う会、節分、ひな祭り等の小行事を各館対応で実施した。

(2) 地域交流の状況

① ボランティアの受入れ

「ひまわりの会」の定期的な活動と夏まつり等の出演やお手伝い、郷土芸能「えんぶり」披露などを含めて延724名のボランティアを受け入れた。新型コロナウイルス感染防止のための自粛により、昨年度より260名余り減少している。

② 実習、体験の受入

介護福祉士資格取得のための介護実習は4名で延べ67日、看護臨地実習は5名で延べ79日、介護体験等は5名で延べ16日、他に各学校生徒8名の見学を受け入れた。

(2) 人材確保、ボランティア推進活動

高校等各学校で出張介護体験、介護出前講座を開催した。6校で計340名が参加、派遣職員は延べ43名であった。

(3) 地域貢献推進活動

「青森しあわせネットワーク」の階上町拠点社会福祉法人として相談支援を行った。今年度は9件、合計222,315円の経済的援助を実施した。

2 職員・組織の状況

(1) 職員研修の状況

青森県、全社協、県社協、老人協会等の外部研修71件に167名の職員が参加した。園内研修は小規模研修として身体拘束、感染予防、介護技術等の研修を実施した。

(2) 諸会議・各種委員会開催状況

部長会議、運営管理会議、各課連絡会議等毎月開催、身体拘束委員会、リスクマネジメント委員会等のサービス向上委員会及び入所判定委員会等の特別委員会を必要に応じて随時開催した。

(3) 各支援組織の状況

見心園ともの会をはじめとした支援組織は年 1 回の会合を開き、親睦を深め情報交換を行った。

(4) 広報活動の状況

見心園だよりは年 2 回発行、ホームページは随時更新し新鮮な情報を発信した。

(5) 防災訓練の状況

総合訓練を 2 回、災害対応訓練を 2 回実施した。消防設備点検は法定点検を 2 回、自主点検を 2 回実施した。

(6) 施設管理の状況

エレベーター、ボイラー、浄化槽棟は定期的に点検し、車両の点検を万全に行っている。庭園管理も造園業者に依頼し適宜実施している。

III 特別養護老人ホーム見心園の状況

1 利用者の状況【3/31 現在】

利用者の平均年齢は従来型 88.8 歳、ユニット型 89.2 歳。平均介護度は従来型 4.1、ユニット型 4.3 である。年間利用率は従来型 94.7%、ユニット型 68.6%で退所者は 31 名、うち看取りは 28 名、平均在園年数は約 3 年である。

2 介護の状況

食事については、経管栄養者が減って経口摂取者が増えている。全体の 45%が全面介助、一部介助が必要である。入浴については一般浴の方が 18%で、ほとんどが中間浴、特殊浴となっている。排泄については昼夜オムツが 44%で、トイレで排泄する方もほとんどが介助を要する。

3 看護の状況

インフルエンザ感染者はなく、年間入院者は 11 名述べ入院日数は 190 日になっている。異常の早期発見、家族への丁寧な報告説明、意向確認に努めた。

4 栄養管理の状況

高齢化が進み嚥下状態が低下している。傾向摂取 87 名中 68 名が刻み食、ミキサー食である。嗜好調査、残食調査を実施して、献立作成に反映させている。

5 余暇活動の状況

音楽クラブ、料理クラブ等を全体で実施し、各館ごとにお茶会、園芸、季節の作品作りなどを楽しんだ。

IV 在宅介護支援の状況

1 ショートステイ

介護職員が充足しないため受け入れ控えているので、年間利用率は 32.4%となっている。利用者の平均介護度は 3.2、階上町と八戸市の利用者が中心となっている。

2 デイサービス

年間稼働日数は 313 日、通常型（介護予防含む）の利用率は 75.6%、認知症型は約 40%である。平均介護度は通常型 85.3 歳、認知症型 87.6 歳。通常型の介護度は要介護 1、2 が 77%超、認知症型は介護 4,5 の利用者はいない。重度になると在宅介護は困難のようである。

今年度から「ばばちゃカフェ」を実施、県社協のみんなの居場所の登録をしている。

3 居宅支援事業所

ケアマネジャー3名で、ケアプラン 84 件、予防プラン 7 件の作成をしている。認定調査は階上町在宅サービス利用者と八戸市の特養利用者 93 件の調査を実施した。

4 在宅介護支援センター

階上町地域包括支援センターのランチとして総合相談窓口業務、高齢者実態把握を実施。階上町通所型サービス B 事業を受託して「わんつか元気教室」を実施年間 2 クール延べ 532 名の参加である。さらに階上町高齢者サポーター設置事業を受託し、公的保険外のサービスをコーディネートしている。